千葉県聴覚障害者協会の沿革

昭和２１年２月１７日
千葉県ローアクラブ
官立東京聾唖学校（当時）教員だった三浦浩氏らを中心に発足

昭和２２年末～２３年３月頃
千葉聾唖協会
改称後、昭和２３年８月、（財）全日本聾唖連盟に加盟

昭和３４年５月
千葉県ろうあ連合会
改称後、昭和４４年４月、千葉県身体障害者福祉協会発足に伴い、千葉県身体障害者福祉協会言聴部会として位置付ける

昭和４９年５月
千葉県ろうあ団体連合会
千葉県身体障害者福祉協会言聴部会より改称

- 昭和５６年３月　第１回耳の日まつり開催
- 昭和６１年２月　機関紙「みみしお」第３種郵便物認可
- 昭和６３年４月　私学会館に事務所を設置
- 平成元年４月　千葉県より委託事業として派遣・講習会・ビデオ貸出

平成１１年４月
千葉県聴覚障害者連盟
改称
平成１３年以降は社団法人等・公益法人設立について検討期間に入る

- 平成１３年５月　千葉聴覚障害者センター設立
- 平成１８年３月４日　連盟臨時評議員会にて、連盟発展的解散と法人設立を承認
- 平成１８年８月１８日　（社福）千葉県聴覚障害者協会設立、千葉市に登記

平成１８年８月１８日
社会福祉法人 千葉県聴覚障害者協会
設立。理事長は植野圭哉。
平成１９年３月１０日に聴覚障害者情報提供施設「千葉聴覚障害者センター」開所。同時に協会事務所を移転。

現　在

- 平成２０年６月１日　移動支援事業　地域活動支援センター事業「らいおん千葉」　相談支援事業　等　事業拡大展開
- 平成２０年７月１日　老人居宅介護事業　開所
- 平成２２年１０月１日　就労継続支援Ｂ型事業「らいおん工房」
- 平成２４年４月３日　地域活動支援センター事業「らいおん香取」開所
- 平成２６年７月２日　共同生活援助事業「らいおんホームそが」開所
- 平成３０年２月　生活介護事業「らいおん神明」開所